

蝦名理恵(えびなりえ)さん



- ・栗山町出身
- ・旭川の自宅を拠点として夫は北見市、自身は札幌市に愛犬のトイプードルと共に単身赴任。大学生の息子と3人家族で4かまど。
- ・北海道食糧事務所栗山支所採用その後札幌、北見、滝川、旭川勤務を経て現在の北海道農政事務所事業支援課勤務に至る。
- ・2012年～2013年 旭川市民農業大学受講。
- ・北海道新聞「朝の食卓」コラム担当(上川版「北極星」から通算8年目)。
- ・好きなこと: 農と食を中心とした地域巡りと魅力発信、生産者とシェフをつなぐイベント企画等。

地域で見つけた宝物

北海道農政事務所 生産経営産業部事業支援課

6次産業化専門官 蝦名理恵

こんにちは！北海道農政事務所
で六次産業化・農観連携等を担当
しております蝦名と申します。
あつとつ間に三回目の投稿にな
りました。何といっても健康が気
になる年代です。今回はそんなこ
ともちらっと…。

◆シェフから農業の道へ！

知人から、「農業をはじめたば
かりの素敵な青年がいる」と聞い
て、向かったのは江別市 齋藤嘉
憲さんの齋藤農園。レストランの
シェフだった彼は、料理について
こだわり続けているうちに、生産
現場、食材から作りたくなつたと
実家の農業を継ぐ決心をしました。
「料理をするシェフのこだわりを
知り尽くしているからこそ、自分



【齋藤農園 齋藤嘉恵さん】

にしかできないことがある」と挑戦したいことだらけ。そのうちの一つが自分で育てたハーブをブレンドしたハーブティーの商品化です。一度レストランで食後に試飲させていただきましたが、きつみがなくほどよいその香りにはすっかり癒されました。

そして、彼の口から「美瑛の百姓や 青木さん」の農園を訪れたことが、農業をするきっかけになったいうことを聞いて驚きました。私も度々訪れたいなる青木さんの農園、こうしてつながっていることびっくりです。

◆ 美瑛 百姓や 青木芳文さん

さて、その「美瑛 百姓や」青木さんをご紹介します。ここ数年お盆に訪れるのは、実家、自宅、そして青木さんの圃場です(笑)。地図にのっていない場所?! 説明してもたどり着けない場所にある青木さんの圃場。今では数えきれないくらいの種類の野菜を作る青木さんの元を訪れるシエフは少なくありません。この日はご縁があつて東京にオープンしたレストラン「イヌア」の中道さんをご案内させていただきました。札幌にあるレストラン「モリエール」中道シエフの息子さんです。

異業種から就農された青木さん。美瑛の奥深くで農業を使わずに育てる野菜は品質が高く、道内外の有名レストランから引く手あまたです。シエフのニーズを



【青木さん】

聞いて挑戦をはじめると野菜も
少なくとも、調理方法、食べ
方にも詳しいため、この日も
中道さんとは話が弾んでいま
した。

そしてある日、テレビ関係
者とお話をする機会がありま
した。青木さんは、ドライト
マトを商品化する計画で六次
産業化の認定を取得していま
す。青木さんの人柄、農園の
話を紹介しているうちには非
取材に行きたい、NHK「プ
ロフェッショナル」も行ける
かも！と盛り上がったほどで
す。

今年は台風や災害が多く
「百姓が試される年だ」とほ
そりと発した青木さん。本当
にプロフェッショナルな方の

お一人です。

◆ここにしかないもの！

玉ちゃんアイス

玉ちゃんアイスを知っていますか？今
から数年前、小泉進次郎議員も試食した
そのアイス。札幌市東区発祥の「幻のた
まねぎ」札幌黄を使ったアイスクリーム
です。

当時、気になって調べたものの、販売
箇所が限られていたため食べる機会がな
いままでした。

先日、東区周辺に出向く機会が訪れた
ので、失礼ながら玉ちゃんアイスはまだ
販売しているのだろうか（笑）と調べた
ところ、立派に販売されているとのこと。
販売店である「きせつや」さんを訪れ数
人で試食しました。インターネットの情
報では「あまり玉ねぎ感はない」とあり



ましたが、三人が三人共「玉ねぎの味するー」という感想で、とろっとしたパニライアイスの中にある玉ねぎの味と食感に感激、近くになれば買い置きしたいくらいです。札幌市伏古商店街振興会が大谷大学の学生とのコラボで開発されたこの商品、販売店が増えないものか、機会を作って代表の方にお話を聞いてみたいものです。

◆ 「健康」のためなら
死んでもいい!!

お笑いの番組でそのフレーズを聞いたのはもう随分前のことです。当時の上司が健康のためにあらゆることを試されており、そんな冗談で笑っていました。私も今はご多分にもれず同じような状況。健康によくと聞くとつらいつらいつら試してみたくありません。

ある日、友人から、通っている歯科がとても良いと聞きました。それによると歯に詰められている水銀（アマルガム）は体に悪影響を及ぼすため、血液検査を行いながら除去しその後栄養指導を行っていくというもの。アマルガム除去により、体の不調が軽減し口の中から総合的に健康になれるというような内容でした。

以前から顎の違和感を感じており、慢性的な肩こり、首の痛みが楽になればと受診を決めました。ところが、いざ通院すると保険外治療なため高額な治療費に関わらず思うような説明もなく、理解できないことが多かったため度々説明を求めたのですが、歯科医院側からコミュニケーションをとる自信がないため治療はお断りしますと言われてしまいました（笑）。五〇数年生きていますが診療を断られたのは初めてです。

アマルガムの危険性を言われながら、放り出されてしまったのでまずは他の意見も聞いてみよう」と知人の歯科医に聞いたところ、見解は全く別なもので、アマルガムが身体にあつたとしても自然に放出して身体に不調を及ぼすとは考えにくい。それよりも必ず健康な歯も削ることになるのでそちらの方が問題…顎の違和感等は通いなれた歯科に行つてはどうかとのお言葉でした。

医療の世界は難しくいろいろな考え方があつたとつくづく感じる出来事でした。それと同時にその人が良い治療でも自分にとっては良いものであるかはわからない…。つい、全ての不調が改善されると思ひ込んで飛びついてしまいました。健康情報があふれる状況の中で、選ぶのもまた自己責任です。今となつては、アマルガム除去に多額の投資を行い続ける道を選ばなくて良かったと心から思いま

した。

さて、このアマルガム除去について、同じような経験をされた方などいらっしゃいましたら、読者の皆様のご意見もお聞きしたいものです。

◆ 震災後にマルシェ

そしてこのことに触れずにはいられません。九月六日未明に北海道を襲つた地震。我が家はその夜までに電気も復旧し被害はありませんでしたが、懐中電灯も常備しておらず、不安がありました。テレビをつけて被災地の被害の甚大さに唾然とし、被災者の方が語つ



ていた「夢ならいい」という映像が心に残りました。

その週末、震災の影響はあちらこちらから聞こえてきました。牛乳の廃棄、農産物出荷のストップ、飲食店のキャンセル、中止されたイベントの食材が大量に行く先を失っている等々。そんな中知人に誘われマルシェのお手伝いをする事になりました。行き場を失っている野菜を少しでも欲しい人に届けることができたらしとそんな願いです。

話を聞いたのは前日の朝、実家のある栗山町にいた私は途中、長沼町の農家に連絡をして行き場のないトマトをマルシェで売るために運ぶことができました。当日はオープン前からたくさんの方の列が出来、大量にあった野菜も一時間もしないうちに完売してしまいました。近隣の生産者の顔が思い浮かび、あの人もこの人にも連絡をすればよかったと頭

をよぎりました。けれど出来ることには限りがあります。無理なく無駄なく自分のできることを積み重ねていきたいものです。

◆震災を乗り越えて

届いた鹿肉

むかわ町で被災した女性ハンターの友人がいます。彼女ら数人とレストランで彼女の鹿肉を食べる予定がありました。

今回の震災があったため、取りやめかと思いきやレストランで廃棄した食材の多さに、食べ支える気持ちで旭川から来られたレストランの総料理長の心意気に加え、鹿肉も既に届いているということとで予定通りの食事会となりました。

震災後の停電、余震の中、車のヘッドライトを頼りに解体され、札幌に届いたその鹿肉。命を無駄にしたくないという

彼女の想いを感じながら、有難くいただきました。彼女の鹿肉は血抜きが上手で全く臭みがないという評判ですが、いつにも増して美味しく感じました。

北海道胆振東部地震という名前がついた今回の地震、被災地ではまだ断水、多くの方が避難所に身を寄せていると聞いています。これ以上の被害の拡大がなく、通常の生活に戻られることを祈るばかりです。

注：九月二日に寄稿いただいたものです（編集部）。